



科学実験教室～静電気冬の運動会～

12月18日、川崎区の浅田小学校 わくわくプラザにて『科学実験教室』を実施しました。講師には科学実験教室サポーター「くじら」の方を招き、身近な科学技術にふれることで不思議さと楽しさを体験し、好奇心と想像力を育て、同時に児童の仲間づくりの機会を設けました。

今回のテーマは“静電気冬の運動会”。最初に、静電気には“反発する”“引き寄せる”という2つの種類があるというお話があり、その両方の働きを体験できる遊びをわくわくプラザのみんなで楽しみました。

まず“反発する”働きとして、ストローをキッチンペーパーでこすり静電気を発生させ、近づけると反発しコロコロと転がっていく車でレースをしました。うまくまっすぐに走らせるのは難しかったようですが、慣れるとまっすぐコースを走れるようになり、みんな楽しく遊びました。



次に“引き寄せる”働きとして、4人で静電気を起こしたストローを持ち寄り、銀色の風船や紙

のリングを持ち上げるという実験を行いました。ストローに起こる静電気は微弱で、なかなかうまく持ち上がらなかったため、その理由を一生懸命考えながら実験に取り組みました。

冬は空気が乾燥し静電気の“パチパチ”が起こりやすい季節ですが、こういった現象も身近な科学体験であるということを知り、子どもたちも好奇心を広げることができた様子でした。これを機に、身の回りの不思議なことに興味を持ち、豊かな情操と想像力を育ててほしいと思います。

当財団では今後も、様々な活動をされている地域の方々との交流を通して、子どもたちの健やかなこころの成長を見守っていきます。



※わくりんは、当財団が管理運営するわくわくプラザ102施設のキャラクターです。

おめでとうございます!

11月7日(木) 国際交流センターにて「令和元年度川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞・アゼリア賞」の贈呈式が行われました。当センター推薦のNPO法人フリースペースたまりは理事長、子ども夢パーク所長、フリースペースえん代表 西野博之さんが社会功労賞を受賞しました。



33年前より不登校児童生徒・若者及び保護者の支援活動を行っています。国籍・年齢・経済状況・障害の有無に関わらず、様々な背景を持つ子ども・若者の居場所づくりに献身的に取り組み「川崎市子どもの権利に関する条例」の策定をはじめ「川崎市子ども夢パーク」の所長として、施設内にある「フリースペースえん」の運営とともに、子ども・若者の居場所づくりを精力的に行い、施設の開発と条例の普及啓発に寄与されています。



■ご案内 MAP



ナンバーゼロ 2020年冬号(通巻No.288)

【編集・発行】

公益財団法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課

〒211-0004 川崎市中区新丸子東3-1100-12

電話:044-430-5566 FAX:044-430-5577

メール:suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp

WEB:http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/



Facebookでも情報を発信しています。
<https://www.facebook.com/kcac.suisin/>



ポータルサイト「応援ナビかわさき」
<http://kawasaki.genki365.net/>

2020年
冬号(通巻No.288)

ナンバーゼロ



目次

- P2 施設サービスに係る料金改定のお知らせ
休眠預金等活用法による実行団体公募が始まっています。
- P3 ごえんカフェ報告
市民活動のキーワード
- P4 わくりんがゆく

2020年度ロッカー・レターケース利用団体募集

市内で活動するボランティア・市民活動団体を対象に、印刷用紙や資料、備品などの保管にご利用いただけるロッカー(鍵付き)、郵便の受取りやメンバー間の情報交換に便利なレターケースを貸し出します。

募集対象 当センターの施設登録団体(要事前登録。但し、登録まで1週間程度かかります)

利用期間 2020年4月1日(水)～2021年3月31日(水)

申込期間 2020年2月1日(土)～2月29日(土)必着

公開抽選 2020年3月6日(金)14:00 当センター・フリースペースにて。

割当決定日 2020年3月20日(金)10:00 ※電話でのお問合せも受け付けます。

申込方法 所定の申込書に必要事項を記入の上、来所または郵送で提出(申込書は当センターホームページからもダウンロード可)
※原則1団体1台。複数希望の場合は申込書に記入していただき、申し込み団体の1台目が決定後、空きがある場合に複数希望の割当を1団体1台ずつ行います。但し、空き数以上の希望があった場合は公開抽選とします。

その他 契約及び利用は、2020年4月1日(水)から。荷物の搬入も同じ。大きさ、募集台数と利用料は以下のとおりです。

ロッカー(大) 高さ810mm×幅260mm×奥行500mm
募集数:85台 利用料:6,000円/台・年(月額:500円)

ロッカー(小) 高さ510mm×幅260mm×奥行500mm
募集数:9台 利用料:3,600円/台・年(月額:300円)

レターケース 高さ80mm×幅285mm×奥行390mm
※レターバック(340mm x 248mm)が入るようになりました。
募集数:49台 利用料:600円/台・年



※ご利用に際しては、「公益財団法人かわさき市民活動センター施設等運営要綱」を遵守願います※

施設サービスに係る料金改定のお知らせ

当財団におきましては、市民活動団体の活動拠点として民間の発想と努力でさまざまな施設サービスを低価格で提供してまいりましたが、消費税の増額などの諸般の事情により、2020年4月1日から下記施設サービスの料金を改定させていただくことになりました。

何卒このことに対してご理解下さいますようお願いするとともに、市民活動団体の活動支援へさらに取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬ施設サービスのご利用をお待ちしております。

	新料金	旧料金
市民活動ブース	13,000円/月額	11,000円/月額
会議室	600円/1コマ	500円/1コマ
会議室イベント利用時	2,400円/AB会議室各1コマ	2,000円/AB会議室1コマ
ロッカー(大)	500円/月額	300円/月額
ロッカー(小)	300円/月額	200円/月額

※1コマとは、1日のうち、午前/午後/夜間のいずれかの時間帯の1つを指します。

印刷機 (Duplo)	新料金	旧料金
印刷枚数	1-100枚まで 100円	1-99枚まで 80円
	101-200枚まで 150円	100-199枚まで 110円
	※以降、100枚単位 50円/100枚	※以降、100枚単位 30円/100枚

※製版代は1枚100円です。

休眠預金等活用法による実行団体公募が始まっています。

休眠預金が実行団体（NPO など）に助成されるまでのスケジュール

2019年10月～2020年2月末：資金分配団体による実行団体の公募・選定（※本紙発行時点で実行団体の公募を終了している）
2020年1月～3月末：資金分配団体による実行団体への助成（資金分配団体もあります）

指定活用団体

一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）

指定活用団体（国内で唯一）が方針や基準、各種ルール作りをしたり、年間30団体程の資金分配団体を公募・審査・選定します。

↓ 助成・貸付・出資
(当面の間は助成のみ)

↑ 監督・事業報告

今年度選定された資金分配団体とその事業

指定活用団体から資金を受けて、実行団体に助成していきます。指定活用団体が策定した方針や基準、ルールに沿った資金分配をしていきます。(資金分配団体の詳細は JANPIA のウェブサイトをご覧ください)

1 草の根活動支援事業 15 団体 15 事業

全国各地で地域に根差して従来から事業を展開している NPO や各種団体を念頭に、本制度を活用し、さらなる活動の拡大及び成果の向上を図り、当該活動の持続可能性の向上につなげていくことを目指します。1 団体あたりの助成上限 2,000 万円

2 新規企画支援事業 3 団体 3 事業

斬新で革新的な手法による社会の諸課題解決への取り組みを促進するため、企業等の他セクターと連携した新規企画の創出（インキュベーション）と実行の加速（アクセラレーション）を目指します。1 団体あたりの助成上限 6,000 万円

3 ソーシャルビジネス形成支援事業 2 団体 2 事業

革新的事業による社会の諸課題解決への取り組みを促進するため、新たなビジネスモデルの創出と推進を目指します（ソーシャル・インパクトボンド手法など）。1 団体あたりの助成上限 6,000 万円

4 災害支援事業 4 団体 4 事業

大規模な自然災害等により、地域とその住民が長期にわたり困難を強いられることから、被害軽減に向けた NPO 等による防災・減災の取り組みや、大規模災害発生後の緊急災害支援、さらには災害復旧・生活再建支援等に向けた NPO 等の各種団体の活動の推進を図ります。1 団体あたりの助成上限 4,000 万円

↓ 助成・貸付・出資

↑ 監督・事業報告

実行団体（民間公益活動を行う団体）NPO など

内閣府ホームページ https://www5.cao.go.jp/kyumin_yokin/

「ごえんカフェ」開催しました。

「ごえんカフェ」は地域を良くしようとする取り組みに関心のある方の、「ごえん」をつなぐ交流会です。11月30日（土）13:30～15:30、かわさき市民活動センターのフリースペースに、市民活動・ボランティア、社会貢献等に関心のある団体、企業、士業、大学、行政、個人と様々な方々約80名（職員含む）が集まり、自己（団体）紹介や名刺交換などで交流を深めました。

初めて「ごえんカフェ」にご参加いただいた方にも、楽しく交流していただけるよう、「ごえんカフェ事例発表」や「PRタイム」で、これまでの「ごえんカフェ」での出会いを通じて出来たご縁や、ご自身の団体のPRをしていただきました。

参加者アンケートには、「参加前は緊張しましたが、色々な団体さんとお話ができ



よかったです。」
「様々な社会貢献活動を知り、自分自身の視野が広がった。」
「また新しい出会いがありました。毎回はじめて参加の方もいて、とても活性化していますね。」

「久しぶりの参加でしたが、新たなつながり、協働のイメージがわきました。来年度のコラボを考えてみたいと思います。」
「思いもなかった活動団体の方と知り合えて、新たな活動への広がりにも促されるきっかけとなりました。」
・・・などのご感想、ご意見がありました。

「今回のごえんカフェでの出会いをきっかけに、こんな連携ができました！」というご報告をたくさんいただけることを楽しみにしています。来年度もどうぞお楽しみに！

川崎市からのお知らせ

●提出書類の注意点を再確認!

NPO法人事業報告書等作成事務説明会

毎事業年度終了後、川崎市への提出が義務付けられている書類の作成ポイントなどについての説明会を開催します。

要事前申込、定員30名(先着順、各団体2名まで)

時間 14:00～16:00

●認定や条例指定に興味がある!

NPO法人認定・条例指定制度説明会

認定・条例指定制度にご興味のあるNPO法人を対象に、制度概要や申請手続きについての説明会を開催します。

要事前申込、定員30名(先着順、各団体2名まで)

時間 18:00～20:00

日 程	令和2(2020)年3月6日(金)
会 場	中原区役所 5階 505会議室
対 象	川崎市にのみ事務所を置くNPO法人の方
申 込 方 法	2月3日(月)から受付開始。 窓口にて直接、電話、FAXまたは 川崎市ホームページ内の申込専用フォーム

※FAXでお申込みの場合は、①お名前②法人名③参加人数④電話番号を必ずご記入ください。
※配慮が必要な方は、2月19日(水)までにお申込みの上ご連絡をお願いいたします。

申込先・問合せ 川崎市 市民文化局 コミュニティ推進部 市民活動推進課
電話 044-200-2341 FAX 044-200-3800

予 告

日時 2月22日(土) 13:30～16:30

パワーアップセミナー⑤

「団体の世代交代
それぞれのカチを見つける」

会 場：かわさき市民活動センター会議室
講 師：富永一夫さん
特定非営利活動法人フュージョン長池創設者

参加費：1,000円

日時 3月28日(土) 14:00～16:00

「セミナー活用成果発表会」

下記セミナーを受講した2団体が、受講したことを「どのように活動に活用しているか」成果発表をいたします。

パワーアップセミナー①&⑦

「グラフィックレコーディング」

パワーアップセミナー②&③

「伝えたい人に伝えるための広報&集客チラシ」

会 場：かわさき市民活動センター会議室
参加費：無料

シリーズ 市民活動のキーワード Vol.6 「社会的インパクト評価」

「社会的インパクト評価」とは、事業や活動の短期・長期の変化を含めた結果から生じた「社会的・環境的な変化、便益、学び、その他効果」を定量的・定性的に把握し、事業や活動について価値判断を加えることをいいます。

全世界的な潮流として、ステークホルダー（主に資金の出し手）が事業や活動による社会的な価値の「見える化」を求める傾向にあります。日本でも、2016年12月に休眠預金等活用法が成立し、休眠預金等を活用した成果に係る評価の実施が求められており、同法で「社会的イン

パクト評価」の活用が想定されています。

評価手法にはさまざまなものがあります。内閣府によれば、評価に取り組む目的、ステークホルダーの興味、評価に投じることのできる資源（予算・人員）等に応じて採用すればよいとされています。評価結果＝成果を表現する方法は、定性・定量・金額さまざまで、必ずしも成果の金額換算が最終目的ではなく、またできる限り定量データと定性データの双方を収集し、因果関係・社会的インパクトの分析に活用することが望ましいとされています。